

患者さんへ

肩腱板修復術後の臨床成績に関する研究について

神戸大学医学部附属病院整形外科では、現在、平成 19 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日の期間中に本院で肩腱板修復術を受けられた患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[\[問い合わせ窓口\]](#)までご連絡ください。

[研究概要および利用目的]

神戸大学医学部附属病院整形外科では、肩腱板断裂に対してほとんどの手術で関節鏡（内視鏡）を用いて腱板修復術をおこなっております。

手術を受けた患者さんの手術後の痛み、肩の動き、日常生活での困る点など調べて、さらにレントゲンや MRI から関節の変形や腱板の状態を調査して、より安全で、より早く日常生活に戻れるような手術方法を開発するために、研究を行うことといたしました。尚、この研究は新須磨病院との共同研究となります。

【研究期間】

この研究は、神戸大学大学院医学研究科長承認年月日（平成 27 年 4 月 2 日）から平成 30 年 12 月 31 日まで行う予定です。

[取り扱うデータ] 患者さんのカルテから以下のデータを収集させていただきます。

- ・患者背景：性別、年齢、痛みの程度、肩の可動域、筋力、日常生活での困る点
- ・画像検査の結果：レントゲン写真、MRI
- ・アンケートの回答：診察時に受けていただいたアンケート調査の回答

[個人情報保護の方法]

収集させていただいた上記のデータの記録、保管は第三者が直接患者さんを識別できないよう登録時に定めた登録番号を用いて行います。また得られた記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学大学院医学研究科整形外科学研究室の鍵のかかる保管庫に保管します。

[研究へのデータ提供による利益・不利益]

利益・・・本研究にデータをご提供いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはございませんが、本研究結果が、今後の肩腱板修復術技術の向上に有用となる可能性があります。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

[研究終了後のデータの取り扱いについて]

研究終了後には、データは、患者さん個人を特定できない状態にして廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報がかんになることはありません。

[研究へのデータ使用の取り止めについて]

いつでも可能です。データを本研究に用いたくない場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

[問い合わせ窓口]

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、あるいはご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

神戸大学医学部附属病院整形外科 助教 美舩泰

連絡先：078-382-5985

*本研究に関する情報は神戸大学医学部附属病院のホームページにも概要を掲示しております。(以下にアクセスしてください。)

URL：<http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/index.html>